



米生産費統計調査票

(個人経営体用)

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目 次

はじめに

「農業簿記」での初期設定	1
部門や補助科目の設定、補助科目一覧表	2、3
調査票の記入	
1：経営の概況	4、5
2：生産物の販売等の状況	6～9
3：食用米の生産のために使用した資材等	10～19
4：物件税及び公課諸負担	20、21
5：土地改良及び水利費	22、23
6：借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子	24、25
7：建物及び構築物（土地改良施設を含む） の所有状況	26、27
8：自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況	28、29
9：農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況	30、31
10：農具の購入費等	32、33
11：土地の面積及び地代	34～37
12：作業別労働時間	38、39

<記入上の注意事項>

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。

※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、米生産費の調査票を記入する場合、事前に、稲作部門を設定しておくほか、調査項目を農業簿記に設定しておく必要があります。
なお、米しか生産していない場合は部門の設定は必要ありません。
(取引事項が発生した時点で、設定することも可能です。)

稲作部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されます。
後から設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択
(詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。)

また、米生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。

例えば、農業費の内訳として、除草剤、殺虫剤、殺菌剤を設定する必要があります。
(3頁に一覧表があります。)

以下の手順にて、米生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、
分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

<記入上の注意事項>

1. 「農業簿記」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考に
にして、調査票に直接ご記入ください。
2. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく
場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【1】経営の概況

調査票 P3,4

- 1 経営耕地
- 2 世帯員数と農業就業者数等
- 3 認定農業者の状況
- 4 直近5か年の10a 当たり収量
- 5 移植・直まき面積
- 6 水稻作付ほ場規模別枚数及び面積
- 7 田の状況
- 8 ほ場間の距離及び団地への平均距離
- 9 食用米生産における作業委託の状況
- 10 食用米（うるち米）の品種別作付面積

「経営の概況」1～10項

左記10項目に関しては、「農業簿記」では対応しておりません。
米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

制度受取金等の状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表 ⇒ 集計範囲：決算 ⇒ 部門：稲作部門 ⇒ 表示タイプ「補助表示」にチェックを入れて、損益計算書を選択し印刷します。

事前に、水稻共済や戦略作物助成金等の補助科目を設定しておきます。

補助表示にチェック

ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

11 制度受取金等の状況

調査票 P4

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	9000	1694000
		1016400

<ポイント>

米生産費調査では、各勘定科目の内訳が必要となってきます。例えば、農薬費の内訳として、殺虫剤、殺菌剤、除草剤等に区分する必要があります。

「農業簿記」では、「補助科目」機能を使って、それら区分を設定することが可能です。
「初期」⇒「基本」⇒「勘定科目設定」で、経費や売上の区分毎に、勘定科目が表示されますので、「補助科目設定」を使って、必要な細分を設定します。

なお、この設定機能は後からでも使用できます。

合計残高試算表					
損益計算書 全部門					
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済 掛金					
水稻共済掛金				9,000	
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
助成金収入					
戦略作物助成金				1,694,000	
産地交付金				1,016,400	

【2】生産物の販売等の状況

調査票 P5

1 食用米の販売状況等（玄米換算）

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販 売 用 （ 予 定 を 含 む ）	主 食 用 （ 計 ）	136950	31557150
	主食用米として販売された米 （いわゆる緑故米、贈答米、産 直米、政府備蓄米、新規需要米 のうち酒造用米、輸出用米を含 む。）及びその種子		
加 工 用 （ 予 定 を 含 む ）	加 工 用 （ 計 ）	47000	80000000
	加工用として販売された米（加 工用米、米粉用米）及びその種 子		
自 家 用	区 分 出 荷		
	種 子 用	40	
	飯 米 用	270	
	そ の 他		

販売用（予定を含む）の記入

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「主食用」、「加工用」等を設定しました。

合計残高試算表					
損益計算書					
稲作部門					
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【売上高】					
米（主食用）				31,557,105	
米（加工用）				8,000,000	
米（区分出荷）				0	
くず米				74,000	
もみがら				0	
稲わら				4,500	

自家用の記入

「農業簿記」では対応しておりません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

調査票 P5

2 稲わら、くず米の販売状況等

(1) 稲わら

区 分	内 容 例 示	数量の割合(%)	金 額 (円)
販 売 用	加工品等 民芸品、なわ等の原料仕向けのもの		
	その他 (肥料、飼料、敷料等)	3.0	45,000
自 家 用	生 わ ら コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの（無評価）	7.0	
	乾 燥 わ ら 収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）		
	そ の 他 (焼却、放棄)		
計		10.0	

(2) くず米及びもみがら

区 分	数量の割合(%)	販 売 用	自 家 用	そ の 他 (廃棄等)
く ず 米	10.0	1.0	5.0	4.0
も み が ら	10.0			1.0

区 分	販 売 金 額 (円)
く ず 米	74,000
も み が ら	

稲わらとくず米等の販売金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「稲わら」、「くず米」を設定しました。

合計残高試算表

貸借対照表

稲作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【売上高】					
米（主食用）				31,557,105	
米（加工用）				8,000,000	
米（区分出荷）				0	
くず米				74,000	
もみがら				0	
稲わら				4,500	

稲わらとくず米等の販売数量

「農業簿記」では対応しておりません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】食用米の生産のために使用した資材等

調査票 P6

1 種苗費

(1) 種子

品 種 名 等	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
(計)	812	482,629	73
購入			
自給	あきたこまち 40		100

(2) 苗

品 種 名 等	植え付けた面積 (a)	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
(計)	30	60,000	100
購入			
入			

種苗費（購入金額）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」、「苗代」を設定しました。

損益計算書		合計残高試算表			
		稲作部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				542,629	
種子				482,629	
苗代				60,000	

種子や苗の投入数量

「農業簿記」では対応しておりません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

次ページ以降の調査項目も同じです。

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費

資 材 名 等	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	備 考 欄
窒 素 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
リン 酸 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
カリ 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
けい 酸 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
炭酸カルシウム (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		炭酸カルシウムには石灰を含みます。 なお、融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複 合 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
土 壌 改 良 資 材	万 千 百 十	万 千 百 十		微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい 肥 ・ き ゅ う 肥	万 千 百 十	万 千 百 十		
そ の 他	万 千 百 十	万 千 百 十		

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。

また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料」「リン酸質肥料」等を設定しています。

損益計算書

稲作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				542,629	
種子				482,629	
苗代				60,000	
肥料費				2,360,426	
窒素質肥料				0	
リン酸質肥料				95,820	
カリ質肥料				0	
ケイ酸質肥料				0	
炭酸カルシウム				0	
複合肥料				2,169,196	
土壌改良資材				0	
たい肥・きゅう肥				40,000	
その他				55,410	

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費（続き）

資 材 名 等		数 量 (kg)	食用米 負担割合 (%)
自 給	た い 肥		
	き ゅ う 肥		
	稲 ・ 麦 わ ら	800	73
	そ の 他		

3 農業薬剤費

資 材 名 等	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	備 考 欄
殺 虫 剤 (計)	167,940	73	
殺 菌 剤 (計)	73,240	73	
殺 虫 殺 菌 剤 (計)	79,701	73	
除 草 剤 (計)	124,358	73	
そ の 他	21,790	73	殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

自給肥料の投入量

「農業簿記」では対応しておりません。
米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業薬剤費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。

また、農業費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

損益計算書

稲作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				542,629	
肥料費				2,360,426	
農業費				467,029	
殺虫剤				167,940	
殺菌剤				73,240	
殺虫殺菌剤				79,701	
除草剤				124,358	
その他				21,790	

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

4 光熱動力費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
動 力 燃 料	重 油		L		
	軽 油	5 6 5 5	L	5 7 6 8 1 7	7 3
	灯 油	2 0 2 3	L	1 4 7 7 1 2	6 0
	ガ ソ リ ン	1 1 4 2	L	1 3 4 7 6 0	6 0
	潤 滑 油	1 7	L	1 1 4 6 0	6 0
	混 合 油	1 1 0	L	1 6 8 3 0	6 0
電 力 料			-	1 0 1 6 9 0	6 0
そ の 他 (水道料、木炭などの燃料)			-	1 8 9 9 0	6 0
自 給	薪	5 0 0	kg		6 0

5 諸材料費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
購 入	育苗用土(素土含む。)	3 1 4 3 0	kg	5 4 2 9 0 0	7 3
	そ の 他 (計)				
	育苗箱マット	4 0 枚		4 1 0 7 4	7 3
自 給	なわ	1 0 m			7 3

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」「軽油」等を、諸材料費の補助科目として「育苗用土」等を設定しています。

なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、**共通部門**として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書

稲作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				542,629	
肥料費				2,360,426	
動力光熱費				1,008,259	
重油				0	
軽油				576,817	
灯油				147,712	
ガソリン				134,760	
潤滑油				11,460	
混合油				16,830	
電力料				101,690	
その他				18,990	
諸材料費				583,974	
育苗用土				542,900	
その他				41,074	

※ 下記事例では、全て米の生産に投入している前提となります。

食用米負担割合

「農業簿記」では対応しておりません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P 8

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量	単 位	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
共同 負担金	薬 剤 散 布		—	1 5 0 0 0 0	7 3
	共 同 施 設		—		
	共 同 苗 代		—		
農 機 具 借 料			—	4 2 0 0 0 0	9 0
航 空 防 除 賃		1 3 5 0 . 0	ha	3 5 0 0 0 0	7 3
賃 耕 料			a		
は 種 ・ 田 植 賃			a		
収 穫 請 負 せ 賃			a		
も み す り ・ 脱 穀 賃		3 9 7 4 0 . 0	kg	9 1 4 0 2 0	1 0 0
ラ イ ス セ ン タ ー 費			kg		
カ ン ト リ ー エ レ バ ー タ ー 費		1 0 6 9 5 0 . 0	kg	2 4 5 9 8 5 0	1 0 0
そ の 他			—	1 5 0 0 0	7 3

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による

「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書

稲作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				542,629	
賃借料				570,000	
薬剤散布共同負担金				150,000	
共同施設負担金				0	
共同苗代負担金				0	
農機具借料				420,000	
その他				0	
支払 地代				0	
作業委託料				3,738,870	
航空防除賃				350,000	
は種・田植賃				0	
収穫請負せ賃				0	
もみすり・脱穀賃				914,020	
ライスセンター賃				0	
カントリーエレベーター費				2,459,850	
その他				15,000	

数量の入力

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】物件税及び公課諸負担

調査票 P9

1 物件税

区 分	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
固定資産税 (建物)	65,000	75
固定資産税 (農機具)	30,000	60
不動産取得税 (土地以外)		
自動車取得税		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

2 公課諸負担

区 分	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
集落協議会費 (地域集落等の会費)	18,000	90
農業協同組合費	25,000	90
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)	15,000	90
農業共済組合賦課金	25,000	73

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、物件税並びに公課諸負担の補助科目として「固定資産税」「自賠責保険」等を設定しています。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

なお、自動車に関する物件税（自動車重量税、自動車税、軽自動車税）は、調査票11ページの【8】自動車の所有状況に記入してください。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課				335,100	
固定資産税・建物				65,000	
固定資産税・農機				30,000	
自動車取得税				0	
水利地益税				0	
都市計画税				0	
共同施設税				0	
軽・自動車税				49,000	
自動車重量税				26,500	
自賠責保険				6,600	
集落協議会費				18,000	
農業協同組合費				25,000	
農事実行組合費				15,000	
農業共済組合賦課金				25,000	

【5】土地改良及び水利費

調査票 P9

1 土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額（円）						食用米 負担割合 （%）				
	維持負担金			償還金							
ほ場整備事業		2	0	0	0	0	1	0	0	0	9.0
農地開発事業		7	5	0	0	0					9.0
かんがい排水事業		5	0	0	0	0					9.0
農道整備事業											
その他（整地、表土 扱いのない事業）											

2 水利費等

費用名	食用米作付ほ場負担金額（円）						食用米 負担割合 （%）
水利組合費		1	0	0	0	0	9.0
揚水ポンプ組合費							
その他							

土地改良区費及び水利費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、土地改良水利費の補助科目として「ほ場整備事業維持負担金」「水利組合費」等を設定しています。ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

損益計算書 全部門						
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）	
[経常損益の部]						
【生産原価】						
土地改良水利費				1,650,000		
ほ場整備事業維持負担金				200,000		
ほ場整備事業償還金				100,000		
土地開発事業				750,000		
かんがい排水事業				500,000		
農道整備事業				0		
水利組合費				100,000		
揚水ポンプ組合費				0		
その他				0		

【6】借入金及び支払利子

調査票 P9

【6】借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子

資金名（用途）	調査開始時 未償還残高（円）	支払利子額（円）	食用米 負担割合 （%）
短期借入金			
（計）	300000	9000	60
長期借入金			
（計）			
△△資金（トラクター用）	3000000	40000	60
××資金（コンバイン用）	500000	15000	60
買掛未払金	300000		90

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、長期借入金及び利子割引料の補助科目として「△△資金（トラクター用）」、「××資金（コンバイン用）」等を設定しています。

合計残高試算表					
全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《負債の部》					
【固定負債】					
長期借入金				3,500,000	
△△資金（トラクター用）				3,000,000	
××資金（コンバイン用）				500,000	
【流動負債】					
買掛金				30,000	
短期借入金				30,000	

借入金（支払利子）

損益計算書					
全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
【経常損益の部】					
【営業外費用】					
利子割引料				55,900	
短期借入金				900	
長期借入金					
△△資金（トラクター用）				40,000	
××資金（コンバイン用）				15,000	

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

調査票 P10

【7】建物及び構築物

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	新築 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円) 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	食用米 負担 割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						異動 コード	異動に伴う発生金額 (円) 売却金額、取り壊しの金額
1	納屋	36	〇	〇		2005	9	130,000		50,000		75		
2	車庫（4戸で共同所有）	85	〇	〇		1980	8	130,000				75		
3	ビニールハウス（育苗用）	127	〇	〇		2015	2	300,000	300,000			75		
15	納屋（新築）	36	〇	〇		2019	7	300,000				75		

負担割合
変更の例

共同所有の例

準備金
使用の例

建物等の取得年月と取得価格（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区 分 資産区 分	資産名称						取得価格	普通償却額	売却価額
	摘要						交付金等	割増特別償却額	売却損益
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	当期償却費計	当期償却費計	期首帳簿価額
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	償却費累計	償却費累計	期末帳簿価額
1 農 業 建物	納屋					130,000			
	2005/9								

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

損益計算書

勘定科目	全部門		繰越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
	繰越	繰越					
〔経常損益の部〕							
〔生産原価〕							
修 繕 費						170,000	
建物修繕費						50,000	
農具修繕費						50,000	
車修繕費						70,000	

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

調査票 P11

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してください。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入し てください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		食用米 負担 割合 (%)	年内異動状況	
							年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異 動 コ ー ド	売却金額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」
1	軽トラ	11	00	○	○	3	2014	4	850000	500000	350000	40000	265000	66000	60		
2	普通乗用車	22	00	○	○		2013	1	1500000	200000	400000	450000			30	1	500000
15	貨物トラック (4戸で共同所有)	13	00	○	○		2019	3	3800000		3500000	115000			60		

取得年月と取得価格

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書		稲作部門				
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)	
[経常損益の部]						
[生産原価]						
修繕費				170,000		
建物修繕費				50,000		
農具修繕費				50,000		
車修繕費				70,000		

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、租税公課の補助科目として「自動車税」等を、損害保険料の補助科目として「自動車保険料」を設定しています。
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書		全部門				
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)	
【販売費一般管理費】						
租税 公課				335,100		
固定資産税・建物				65,000		
軽・自動車税				49,000		
自動車重量税				26,500		
自賠責保険				6,600		
損害保険料						
自動車保険料				75,000		

【9】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

調査票 P12

【9】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

番号	名 称 等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中 古	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円) 農業機械の購入のために取 り崩した準備金の額を記入し てください。	修 繕 費 (円) 当年の当該農業機械や 生産管理機器の修繕費を 記入してください。	保 険 料 (円) 当年の当該農業機 械の保険料を記入し てください。	軽自動車税 (円) 当年の当該 農業機械の軽 自動車税を記 入してください。	食用米 負担 割合 (%)	年 内 異 動 状 況	
							年 (西暦)	月							異 動 コ ード	売 却 金 額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、0（ゼロ）
廃棄等の例 →	1	トラクター	43	00	○	4	2000	3	51000000				2400	60	2	0
リースの例 →	2	トラクター（リース）	43	00	○		2017	3	58400000		500000		2400	60		
	3	田植機（4戸で共同所有）	133	00	○		2005	5	70000000				600	80		
購入の例 →	15	自脱型コンバイン	202	00	○		2019	8	83000000	50000000			2400	60		

廃棄等の例

リースの例

購入の例

農業機械等の取得年月と取得価格

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表							
コード 事業区分 資産区分	資産名称						取得価格
	摘要						交付金等
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	
1 農 業 農業機械	トラクター					5,100,000	
	2000/3						

修繕費

ダイレクトメニューで
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】
と進みます。合計残高試算表の決算・稲作部門
・損益計算書を参照します。

損益計算書		稲作部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
修 繕 費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、
軽・自動車税を参照します。
ただし、合算されている場合は、元帳に遡って
詳細を確認します。

【10】農具の購入費等

調査票 P13

【10】農具の購入費等

・農具・農業被服等の購入費

名 称 等	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	5,500	7.3	
農具・農業被服等の購入費			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

・生産管理関係の費用

名 称 等	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	4,400	9.0	
生産管理関係の費用			【購入費】 ・コピー用紙、プリンター、トナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
農具費				4,000	
作業用衣料費				1,500	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、

そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て稲作で負担したと見なしています。

全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費				0	
研修費				15,000	
接待交際費				0	
事務消耗品費				1,000	
通信費				28,000	
新聞図書費				0	

【11】土地の面積及び地代

調査票 P14

1 所有地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	食用米 負担割合 (%)
1	水稻（A団地）	55.5	50.5	90 58
2	水稻（B団地）	103.0	100.0	100
10				

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・食用米負担割合）

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	食用米 負担割合 (%)
1	ハウス（育苗用）	15.5	15.0	75
2	車庫	1.2	1.0	75
3	納屋	0.3	0.2	75

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・食用米負担割合）

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【11】土地の面積及び地代（続き）

調査票 P14

2 借入地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	支払地代 (円)	食用米 負担割合 (%)
1	水稻（K団地）	810.5800.5		1680000	90
2	水稻（L団地）	605.0600.0		1200000	100
10					

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	食用米 負担割合 (%)
1					
2					
3					

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・食用米負担割合）

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、支払地代の補助科目として、「K団地地代」、「L団地地代」を設定しています。

損益計算書

稲作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
【経常損益の部】					
【生産原価】					
支払地代				2,880,000	
K団地地代				1,680,000	
L団地地代				1,200,000	

数量の入力（土地1台帳面積・作付実面積・食用米負担割合）

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【12】作業別労働時間

調査票 P15

1 家族労働時間

[illegible]

2 雇用労働時間

3 食用米の田植、収穫機関

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区 分	開 始 日		終 了 日	
田 植	6	1	6	7
収 穫	10	15	10	22

労働時間

「農業簿記」では対応していません。元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。米生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照して記入願います。

4 支払賃金

区 分	支 払 賃 金 (円)	食 用 米 負担割合 (%)
男	105000	60
女	60000	73

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・稲作部門・損益計算書を参照します。
この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定します。

損益計算書

稻作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
【経常損益の部】					
【生産原価】					
雇人費				165,000	
男雇用				105,000	
女雇用				60,000	

米生産費統計調査票 記入マニュアル（ソリマチ版）

監 修：ソリマチ株式会社

発 行：農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課

住 所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

TEL：03（3502）5654

制作委託：株式会社エージェント